



## RS ウイルス母子免疫ワクチンについて

### おなかの赤ちゃんのためにできること

妊娠さんにワクチンを接種し、生まれてくる赤ちゃんの RS ウィルス感染症を予防することができるようになりました。

このワクチンは、現時点では接種を希望する妊娠さんが自費で接種する「任意接種」ですが、令和 8 年 4 月からは公費による原則無料の「定期接種」となることが予定されています。

妊娠さんに RS ウィルス感染症について知っていただき、できればワクチンを接種することにより、一人でも重症化する赤ちゃんの RS ウィルス感染症を防ぐことができるとよいと考えます。妊娠 30 週前後に母体に接種することが推奨されています。

### 妊娠さんにお知らせしたいこと

- ・RS ウィルス感染症の多くは軽い風邪症状で済みますが、生まれて半年以内の赤ちゃんがかかると重症化し入院治療が必要になることがあります、時に命にかかわることがあります
- ・RS ウィルス感染症にかかると重症化すると。その後喘息になる可能性があるといわれています
- ・1 歳までに約 50%、2 歳までにほぼ 100% の乳幼児が RS ウィルス感染症にかかります
- ・特に、上の子さんがいる家庭では、その子さんが幼稚園や保育園で感染し、生まれてすぐの赤ちゃんにうつしてしまうことがあります、生まれる前から対策する必要があります
- ・このワクチンによる妊娠さん、赤ちゃんに対する心配な副反応や副作用は報告されていません



日本産婦人科医会、日本産科婦人科学会、日本周産期・新生児医学会、日本小児科学会は、RS ウィルスワクチンの接種を強く推奨しています。



東京産婦人科医会